

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>【教育局】 新 重</p> <p>1 進学カグレードアップ 推進事業</p>		<p>11,200 〔一財 11,200〕</p>	<p>11,200 〔一財 11,200〕</p>	<p>生徒の希望する進路の実現を目指して、学力の向上を図る。</p> <p>1 大学進学プログラムの作成と指導 820万円</p> <p>研究指定校教員や学識経験者からなるプロジェクトチームで事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none">・大学入試センター模擬テストを作成・実施・結果を分析して個別プログラムを作成・指導 <p>2 志の維持・向上を図る講演会の実施 300万円</p> <p>努力をして第一線で活躍される方の講演会により、生徒のモチベーションの維持・向上を図る。</p>

【審査の考え方】
生徒の希望する進路の実現を目指した学力や意欲の維持・向上に関する取組の必要性を認め、要求額を措置した。

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>新重</p> <p>2 グローカル・ ハイスクール・ プロジェクト推進事業</p>		<p>41,289</p> <p>〔諸収 3,116〕 〔一財 38,173〕</p>	<p>41,289</p> <p>〔諸収 3,116〕 〔一財 38,173〕</p>	<p>世界に広く目を向けた人材を育成するため、新たな教育課程を研究し、作成する。</p> <p>1 協議会・検討委員会を設置し、教育課程を研究・作成 281万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内先進校の教育課程を研究 ・ 研究指定校を基に教育課程の研究・作成 <p>2 研究指定校における実践研究 3,847万9千円</p> <p>(1) 世界的な視野を養うための講義・講演 250万円</p> <p>(2) 外国語指導助手（ALT）の配置 2,833万9千円</p> <p>(3) 実習及び実験 764万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外の教科書を使った授業 ・ 科学分野における最先端の実験 ・ 芸術、技術分野における実践授業
<p>【審査の考え方】</p> <p>若者の内向き志向を改め、グローバルな視野を持った人材を埼玉から育成するため、新たな教育課程を作成する必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>3 県立特別支援学校 教室不足対策事業</p>	<p>2,370,534</p> <p>〔国庫 154,571 県債 1,755,000 一財 460,963〕</p>	<p>956,796</p> <p>〔国庫 48,067 県債 457,000 一財 451,729〕</p>	<p>956,796</p> <p>〔国庫 48,067 県債 457,000 一財 451,729〕</p>	<p>高校再編整備後の空き校舎や地元小学校の空き校舎などを活用して新たな特別支援学校を整備し、教室不足の解消を図る。</p> <p>新</p> <p>1 県東部地域特別支援学校（仮称）の設置 （草加市立松原小学校を活用） 2億9,211万9千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23～24年度の継続費を設定 （総額26億8,223万2千円） ・平成23年度は改修工事の実施設計等 ・中・重度の知的障害のある児童・生徒を受入れ ・平成25年4月開校予定 40教室程度 <p>2 蓮田特別支援学校の病・肢併置化 （肢体不自由部門の設置） 6億5,619万4千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食棟、バスデッキ棟、スロープ棟の増築 ・平成24年4月開設予定 15教室 <p>3 深谷はばたき特別支援学校の設置 （再編整備後の旧川本高校を活用） 848万3千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財発掘調査で出土した土器等の整理・収蔵、報告書の作成 ・平成23年4月開校予定 40教室
<p>【審査の考え方】 知的障害特別支援学校を中心とする教室不足を解消し、児童生徒が安心して学べる教育環境を提供する必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
4 新 重 元気な地域を創造 する子ども大学 推進事業		12,923 (繰入金 12,923)	12,923 (繰入金 12,923)	<p>子どもの学ぶ力や生きる力の向上を図り、併せて地域の絆を深めるため、子ども大学推進事業を実施する。</p> <p>子ども大学推進事業 1,292万3千円</p> <ul style="list-style-type: none">・開校事業（12校） 各子ども大学ごとに実行委員会を組織し、実行委員会の立ち上げ初期の運営を支援する。・発表・交流事業（年1回） 各子ども大学で学んだ成果を発表し合い、交流を深めるイベントを開催することで、子ども大学の理念の浸透を図る。

【審査の考え方】
子どもの学ぶ力や生きる力の向上及び地域の絆を深める有効な施策としてその必要性を認め、要求額を措置した。